

電気通信大学 平成18年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|-------|
| 授業科目名 | 技術の発達と対人関係 | | |
| 英文授業科目名 | Interpersonal Relation in High Technological Circumstances | | |
| 開講年度 | 2006年度 | 開講年次 | 3、4年次 |
| 開講学期 | 5、7学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 田中 健滋 | | |
| 居室 | 保セ202 | | |

| | |
|---------------------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| kjtanaka@office.uec.ac.jp | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| 代表的な日本人論の検討を通じ、現在と過去の日常生活の対人関係を考える。さらに、これらと技術の発達との関係を検討する。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし。 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし。 |

| |
|---|
| 【教科書等】 |
| 教科書：土居健郎「甘え」の構造（弘文堂） |
| 参考書：土居健郎「続「甘え」の構造」（弘文堂）、ルース・ベネディクト「菊と刀」（社会思想社）、恒吉遼子「人間形成の日米比較」（中公新書）、中根千枝「タテ社会の人間関係」（講談社現代新書） |

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各回の担当者が、テキスト（教科書）の担当部分の内容をまとめたレジュメを配り、それを説明し質疑を受ける。他の人は、あらかじめその部分を読んでおく。
セミナー終了後、最終レポートを全員が提出する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

概ね、以下の合計による。ただし出席が2/3以上ない場合は評価対象とならない。

- (1)出席および討論参加度（30点）
- (2)担当部分の発表（30点）
- (3)最終レポート（40点）

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントをとること。

【学生へのメッセージ】

各概念の定義をよく考えること。
セミナーでは遠慮無く自分の考えを述べること。

【その他】